

2024年(令和6年)2月16日(金曜日)

(第3種郵便物認可)

# シンフォニーズ 金融機関の経営状況可視化 一覽で競合先“比較”

シンフォニーズ(東京都)が提供する分析データ一覽サービス「DataBank-IA 金融機関経営分析-by WEBクラウド」が金融界から注目されている。ウェブで個別に金融機関名を指定すると分析データを画面表示し、競合他行との比較などに活用できる。同社の既存サービスを利用するメガバンクなどから引き合いを受けている。

2010年に提供を開始した「DataBank 金融機関経営データ配信サービス」は、決算短信や会社説明会資料、有価証券報告書、ディスクロージャーなどから定量データを集約。業種別にエクセル形式でダウンロードできる。メガバンクや地方銀行、証券会社に加え、地区別に信用金庫と信用組合、信用農業協同組合連合会の新サービスは各銀行

計576機関を個別に経営分析できる。通期と半期の決算データなどが公開されてから1カ月程度で集計し、ウェブのポータルサイトで閲覧可能。資金利益や役員取引等利益の項目で損益分岐点などが分かるなど、同社独自の算出項目も備えている。預金等経費率やスプレッド収益など、75項目の分析テンプレートを用意。監督官庁の受託案件で培った経験も反映している。既存サービスで業界全体の動向を把握し、新サービスをを用いて個別に深掘りしてもらおう活用例を想定。個別金融機関の分析表を作成する業務の深化が期待できる。同社は、第二地方銀

行を中心にデータ分析のコンサルティングも手がける。株主総会前に役員に対して、決算のポイントになった項目の提示や株主へのプレゼンスを支援している。鎌田孝社長は「24年度下期には分析データをグラフィック化できるツールの提供を始めたい」と話す。